

# YOKOHAMA

## THE ILLUSTRATED HISTORY OF

# 戊辰の横浜

明治150年記念企画展

開港都市の明治元年  
7月21日(土)～10月28日(日)

横浜開港資料館

全期展日：毎月第1日～第3日、第5日～第7日、第9日～第11日、第13日～第15日、第17日～第19日、第21日～第23日、第25日～第27日、第29日～第31日  
 全期観覧料：9月30日～10月7日は通常料(大人2,200円、小学生1,100円)の2割、10月8日～10月14日は通常料の1割、10月15日～10月21日は通常料の1割、10月22日～10月28日は通常料の1割  
 入場料：観覧料2,000円、小学生1,000円  
<http://www.yokohama-city.yokohama.jp>

THE ENTRANCE GATE OF YOKOHAMA, 1854

One of his officers have come into the port with troops and guns. Sir Henry Parkes, the British Minister, has just the Mikado's order to open the port to foreign ships. Under the terms of the Convention of Kanagawa, the British Government has agreed to open the port to foreign ships.

Some of his officers have come into the port with troops and guns. Sir Henry Parkes, the British Minister, has just the Mikado's order to open the port to foreign ships. Under the terms of the Convention of Kanagawa, the British Government has agreed to open the port to foreign ships.

Some of his officers have come into the port with troops and guns. Sir Henry Parkes, the British Minister, has just the Mikado's order to open the port to foreign ships. Under the terms of the Convention of Kanagawa, the British Government has agreed to open the port to foreign ships.

# 戊辰の横浜

明治150年記念企画展

名もなき民の慶応四年  
7月21日(土)～9月9日(日)

横浜市歴史博物館

全期展日：毎月第1日～第3日、第5日～第7日、第9日～第11日、第13日～第15日、第17日～第19日、第21日～第23日、第25日～第27日、第29日～第31日  
 全期観覧料：9月30日～10月7日は通常料(大人2,200円、小学生1,100円)の2割、10月8日～10月14日は通常料の1割、10月15日～10月21日は通常料の1割、10月22日～10月28日は通常料の1割  
 入場料：観覧料2,000円、小学生1,000円  
<http://www.yokohama-city.yokohama.jp>

THE ILLUSTRATED HISTORY OF

名もなき民の慶応四年

7月21日(土)～9月9日(日)

横浜市歴史博物館

全期展日：毎月第1日～第3日、第5日～第7日、第9日～第11日、第13日～第15日、第17日～第19日、第21日～第23日、第25日～第27日、第29日～第31日  
 全期観覧料：9月30日～10月7日は通常料(大人2,200円、小学生1,100円)の2割、10月8日～10月14日は通常料の1割、10月15日～10月21日は通常料の1割、10月22日～10月28日は通常料の1割  
 入場料：観覧料2,000円、小学生1,000円  
<http://www.yokohama-city.yokohama.jp>

# 戊辰の横浜

今年「戊辰」の年、慶応4年/明治元年(1868)から150周年にあたります。

激動のこの一年、横浜の開港場と市域の村々では何が起ったのでしょうか。

横浜市歴史博物館と横浜開港資料館が連携してその実態に迫ります。

慶応4年(1868)1月、鳥羽・伏見の戦いで旧幕府軍は敗北。その後各地は戊辰戦争の戦雲に包まれ、日本は戦乱の一年を迎えます。3月、東海道を進んできた薩長の兵士が横浜にあらわれます。しかし、外國軍が駐屯する開港場では戦禍は発生せず、4月、横浜は新政府軍によって平和裡に接収されました。その後、戦火は奥羽に広がります。諸藩は横浜港で武器を調達し、戦争で負傷した新政府軍の兵士は横浜の病院に送られました。横浜は戦場にこそなりませんでした。戊辰戦争と深い関係を持っていたのです。本会場で明治元年から150年目にあたる今年、本展にて、地元の資料から明らかに150年前の横浜の歴史を描き出します。

### 名もなき民の慶応四年

横浜市歴史博物館会場

本会場で、戊辰戦争時に横浜市域の村々や港で何が起ったのか、その実態を探ります。戊辰戦争の時、横浜市域では戦禍は起こりませんでした。しかし、市域とその周辺にこの資料を調査することで、横浜の村々が、特に慶応4年(1868)の3月～5月にかけて、新政府軍や旧幕府勢力とさまざまな関係を有していたことや、市域に陣屋を持つ唯一の藩・武州会津藩の動きが明らかになってきました。これらの資料には、メディアに取り上げられるような著名人は登場しません。しかしその代わり、横浜市域ならではの特色や、当時この地に生きた人々の息づかいを間近に感じることが出来ます。慶応四年＝明治元年から150年目にあたる今年、本展にて、地元資料から明らかに150年前の横浜の歴史を描き出します。

展示構成

ブローグ 大政奉還の情報と村々

- 1 戊辰戦争前夜
- 2 新政府軍が横浜にやってきた
- 3 幕府代官編成の兵士  
一「嗣島農兵隊」と川島農兵隊
- 4 治安と支配 一上野戦争前後

エピローグ 天皇東幸

### 開港都市の明治元年

横浜開港資料館会場

慶応4年(1868)1月、鳥羽・伏見の戦いで旧幕府軍は敗北。その後各地は戊辰戦争の戦雲に包まれ、日本は戦乱の一年を迎えます。3月、東海道を進んできた薩長の兵士が横浜にあらわれます。しかし、外國軍が駐屯する開港場では戦禍は発生せず、4月、横浜は新政府軍によって平和裡に接収されました。その後、戦火は奥羽に広がります。諸藩は横浜港で武器を調達し、戦争で負傷した新政府軍の兵士は横浜の病院に送られました。横浜は戦場にこそなりませんでした。戊辰戦争と深い関係を持っていたのです。本会場で明治元年から150年目にあたる今年、古写真・錦絵・古文書・イラストなど多様な歴史資料から紹介します。

展示構成

- 1 戊辰戦争の勃発
- 2 薩長兵、横浜へ
- 3 新政府軍の横浜接収
- 4 武器輸入港 横浜
- 5 横浜病院
- 6 戦後の終戦と天皇東幸

トピック 戊辰前夜の情景/戊辰の肖像

### 慶応四年

慶応四年(1868)1月、鳥羽・伏見の戦いで旧幕府軍は敗北。その後各地は戊辰戦争の戦雲に包まれ、日本は戦乱の一年を迎えます。3月、東海道を進んできた薩長の兵士が横浜にあらわれます。しかし、外國軍が駐屯する開港場では戦禍は発生せず、4月、横浜は新政府軍によって平和裡に接収されました。その後、戦火は奥羽に広がります。諸藩は横浜港で武器を調達し、戦争で負傷した新政府軍の兵士は横浜の病院に送られました。横浜は戦場にこそなりませんでした。戊辰戦争と深い関係を持っていたのです。本会場で明治元年から150年目にあたる今年、古写真・錦絵・古文書・イラストなど多様な歴史資料から紹介します。

展示構成

- 1 戊辰戦争の勃発
- 2 薩長兵、横浜へ
- 3 新政府軍の横浜接収
- 4 武器輸入港 横浜
- 5 横浜病院
- 6 戦後の終戦と天皇東幸

トピック 戊辰前夜の情景/戊辰の肖像

### 講演会

「戊辰戦争と横浜開港場」  
9月2日(日)14:00～15:30

講師：保谷 徹夫(東京大学史料編纂所所長)  
会場：横浜市歴史博物館 講堂  
参加費：500円  
定員：170人(定員を超えた場合は抽選)  
申込み：横浜市歴史博物館ウェブサイトまたは往復はがき  
締切：8月22日(水)まで Web申込み17:00まで  
※往復はがきは郵送での申し込みが可能です。

●講演会の申込み方法  
横浜市歴史博物館ウェブサイト  
<http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>  
イベント申込みページの企画展「特別展開港場」から申込みをお願いします。  
※スマホ、タブレット等、動作確認しておりません。  
※プライバシーポリシーを必ずお読みください。  
※応募受付完了メールが届かない場合は、申込みが完了していませんのでご確認ください。

※前日入場は他の目的に使用することはできません。

### 講座

●横浜市歴史博物館会場  
①8月31日(日)「江戸幕府の内幕と民衆」  
宮内 尚一(中央大学助教授)  
②8月19日(日)「新政府軍と接収の村々」  
小林 紀子(横浜市歴史博物館学芸員)  
③8月26日(日)「明治天皇の東幸と神奈川県の人々」  
榎田有希子氏(早稲田大学文学部観光学部准教授)

●横浜開港資料館会場  
④9月15日(土)「戊辰戦争と三井」  
村和明氏(東京大学助教授)  
⑤10月6日(土)「戊辰の横浜 開港都市の明治元年」  
吉崎 雄規(横浜開港資料館研究員)  
⑥10月13日(土)「戊辰戦争の海軍と艦隊・横浜・横浜」  
神谷 介介氏(東海大学非常勤講師)

時間：各回とも14:00～15:30  
会場：①～③ 横浜市歴史博物館 講堂  
④～⑥ 横浜開港資料館 講堂  
参加費：各回500円  
定員：各回80名(定員先着順)  
※講座は定員を超えた場合は抽選です。  
※講座に関するお問い合わせは、①～③は横浜市歴史博物館、④～⑥は横浜開港資料館までお問い合わせください。

### 展示担当者による展示解説

●横浜市歴史博物館会場  
8月4日(土)14:00～  
8月11日(土祝)14:00～  
9月1日(土)14:00～  
9月8日(土)14:00～  
いずれも45分程度  
会場：横浜市歴史博物館 企画展示室  
参加費：無料(企画チケットが必要)  
定員：各回30人程度、当日先着順  
企画展示室に入場集合

●横浜開港資料館会場  
8月24日(金)14:00～  
9月22日(土)14:00～  
10月20日(土)14:00～  
いずれも30分程度  
会場：横浜開港資料館 企画展示室  
事前申込み不要、入館の上、展示会場入口に集合

※資料の保存のため、会期中展示替えを行います。